

奥尻町焼却施設維持管理計画

維持管理事項	実施計画
ごみの均一混合	ごみピットは、受入・積み替え・投入の為の十分な容積を有しており、ごみクレーンにより、ごみを均一に混合する。
燃焼室へのごみ投入	ごみ供給口はごみ投入ホッパ・シュート内のごみ自体により外気と遮断され、給じん装置により、定量ずつ連続的にごみを燃焼室に投入する。
燃焼ガスの温度	燃焼室中の燃焼ガスの温度を、摂氏800度以上に保つ。
焼却灰の熱しゃく減量	焼却灰の熱しゃく減量が7%以下となるように焼却する。
運転開始時の措置	助燃装置を作動させる等により、炉温を速やかに上昇させる。
運転停止時の措置	助燃装置を作動させる等により、炉温を高温に保ち、ごみを燃焼し尽くす。
燃焼ガス温度の測定・記録	燃焼室内の燃焼ガスの温度を連続的に測定し、かつ、記録する。
集じん器に流入する燃焼ガスの冷却	ガス冷却室及び空気予熱器により、集じん器に流入する燃焼ガスの温度をおおむね摂氏百八十度以下に冷却する。
集じん器に流入する燃焼ガスの温度の測定・記録	集じん器に流入する燃焼ガスの温度を連続的に測定し、かつ、記録する。
冷却設備・排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去	冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんを除去する。
排ガス中の一酸化炭素の濃度	一酸化炭素の濃度が百万分の百以下となるようにごみを焼却する。
排ガス中の一酸化炭素濃度の測定・記録	煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度を連続的に測定し、かつ記録する。
排ガス中のダイオキシン類濃度	ダイオキシン類の濃度が 1ng - TEQ/N m以下となるようにごみを焼却する。
煙突から排出される排ガスの測定	ダイオキシン類の濃度を年一回以上、ばい煙量又はばい煙濃度（硫黄酸化物、ばいじん、塩化水素及び窒素酸化物に係るものに限る。）を六月に一回以上測定し、かつ記録する。
生活環境の保全	排ガスによる、生活環境保全上の支障が生じないようにする。
ばいじんと焼却灰の分離排出・貯留	ばいじんと焼却灰は、分離して排出し、貯留する。
ばいじんの処理	ばいじんの薬剤処理を行うにあっては、混練装置により薬剤及び水を均一に混合する。